

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

製品カタログ 2011-5

ストレージサーバー

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。

eco スタイル

MAGNIA STORAGE SERVER

データを保存するだけのサービスから
先進のファイルサービスへの移行を!

東芝のトータルストレージソリューション



- シリーズラインアップ
- システム概要図
- 導入効果
- 特長
- スペック一覧

MAGNIA

インテル® Xeon® プロセッサー / インテル® Pentium® プロセッサー搭載

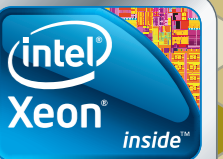


ディスクスペースの節約や業務中のバックアップなど、肥大化するデータを効率的に管理!

MAGNIA Storage Serverシリーズは、中規模ネットワークのファイルサービスやネットワークストレージ用途に最適化したラインアップです。ファイル管理の柔軟性をさらに向上させ、肥大化するデータ管理はもとより、ネットワークの効率的な運用を実現します。

MAGNIA STORAGE SERVER

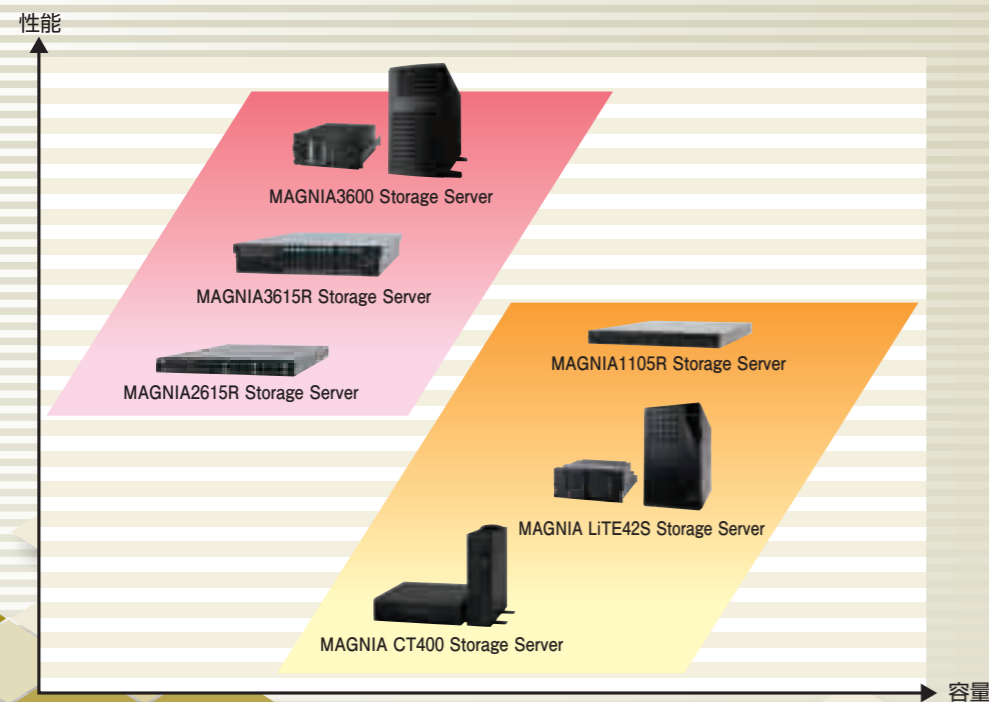
インテル® Xeon® プロセッサ / インテル® Pentium® プロセッサ搭載



**高性能
スマート**

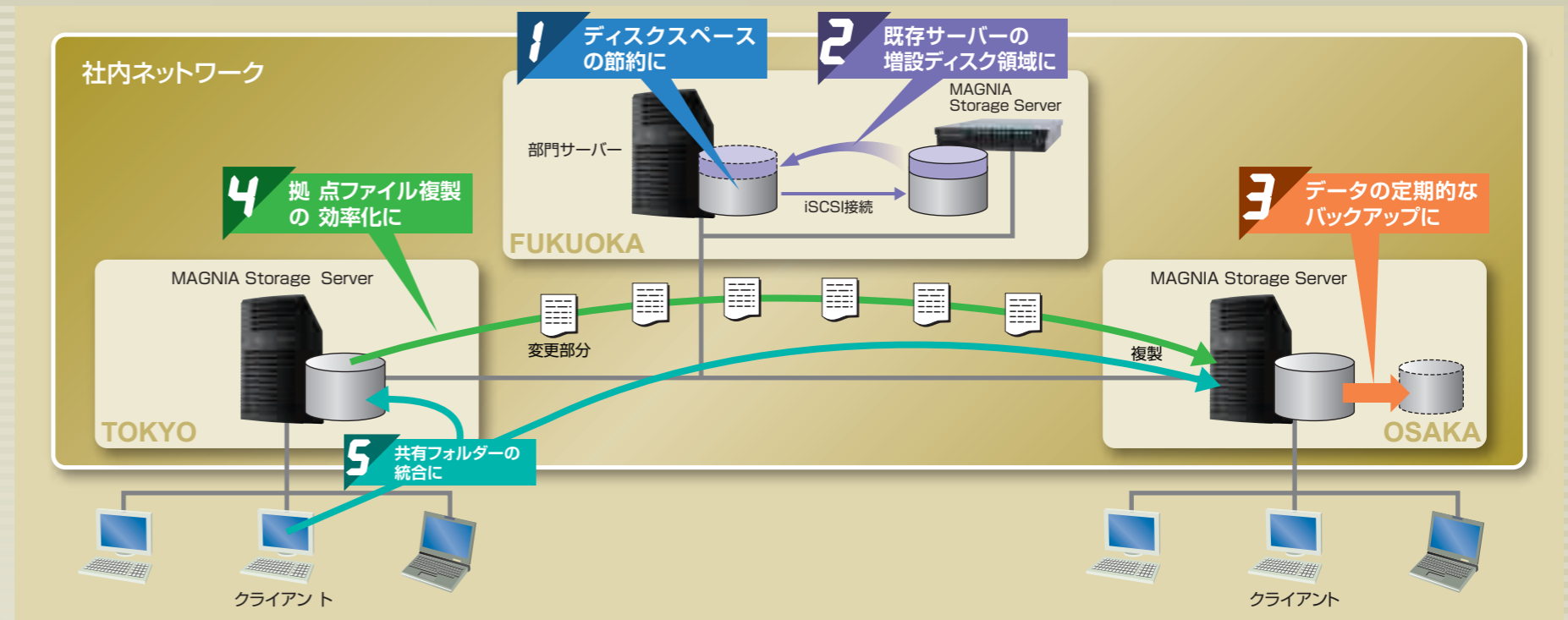
■ MAGNIA Storage Server シリーズラインアップ

サーバーに求められる堅牢性や信頼性はそのままに、内蔵HDDの容量やCPUの性能などを、使用目的や設備環境に応じて自由に選べます。



■ システム概要図

サーバーのディスク容量や保存場所を気にすることなく、データの管理や利用が可能。ネットワークで結ばれているメリットを最大限に活用できます。



■ 導入効果

MAGNIA Storage Serverが提供する、効果的なストレージ機能をご紹介します。

1 ディスクスペースの節約に

メールで添付されたファイルなど同一内容のファイルをユーザーごとに保存するようなケースでも、単一のファイルとそのファイルへのリンク情報のみを管理することで、ディスクスペースを節約することができます。

※MAGNIA LITE42S Storage Server、MAGNIA CT400 Storage Serverでは、ご利用できません。

オリジナルデータ

配布

コピーデータ

リンク

一つのファイルのみ保存

MAGNIA Storage Server

3 データの定期的なバックアップに

データを任意の時点でバックアップ。バックアップポイントは最大64世代まで管理可能。管理者ではなく、ユーザー自身での復旧も可能にしました。

ファイルにアクセス中

VSSによるスナップショット

MAGNIA Storage Server

Disk to Tape バックアップ

VSS対応バックアップ・アプリケーションによりファイルアクセス中でもバックアップが可能

2 既存サーバーの増設ディスク領域に

ストレージサーバーのディスク領域をアプリケーションサーバーのディスク領域としてご利用できます。マイクロソフトの仮想化テクノロジーHyper-V環境のクラスター共有ボリュームとしてもご利用できます。

既存サーバー

増設サーバーに増設ディスク領域を提供

MAGNIA Storage Server

iSCSI接続

IPネットワーク

4 拠点ファイル複製の効率化に

複数拠点間で交互にデータをバックアップ。ファイルの変更部分のみをバックアップするため、高速処理が可能です。また地域災害対策としても最適です。

バックアップ

LAN/WAN

MAGNIA Storage Server

MAGNIA Storage Server

TOKYO

OSAKA

5 共有フォルダーの統合に

複数のサーバーにある共有フォルダーを仮想的に一つのフォルダーツリーとして統合。ユーザーは部門サーバーなどの保存先を意識せずに業務を遂行できます。

支社ユーザー

仮想的なフォルダー階層にアクセス

名前空間

共有情報

支社サーバーが停止した場合は、本社サーバーに自動的にリダイレクト

共有フォルダーの複製処理でデータを同期

通常は、実際のフォルダーがあるサーバーにリダイレクト

本社サーバー

MAGNIA Storage Server

MAGNIA Storage Server

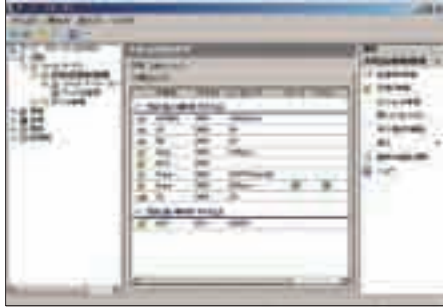
支社サーバー

■ その他の特長

● ストレージサーバー専用OS

(Microsoft® Windows® Storage Server 2008)を採用

Windowネットワーク環境におけるファイルの共有はもちろんのこと、UNIXおよびLinux環境に対してもファイル共有サービスを提供します。ファイル管理機能として、共有フォルダーの容量制限、保存可能なファイル種別の制限、使用状況のレポートといった機能が用意されています。



● 高信頼/高性能なサーバー用ハードウェアで構成

24時間稼働に対応できる耐久性を備えるとともに、冗長ファンなど主要部品の二重化が可能です。さらにOSから独立してハードウェアの状態を監視するBMC (Baseboard Management Controller)*を標準装備し、万が一の障害に備えて連続稼働を支えます。サーバー管理に便利な運用管理ソフトHarness Eye/webもご利用いただけます。

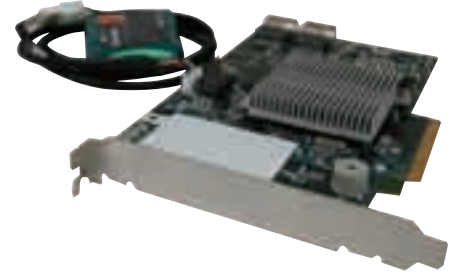
*MAGNIA LiTE42S Storage Server, MAGNIA CT400 Storage Serverでは、ご利用できません。



● 東芝製RAIDシステム

「RAID Masterエンジン」搭載

障害を事前に検出、予防する機能の充実だけでなく、万が一障害が発生した場合の調査、解析を迅速に行うことまで考慮した機能を実現する「RAID Masterエンジン」を標準で搭載。不安定なディスクを検知し、アクセスを管理する警戒モード機能や、障害時の解析に威力を発揮する充実のログ機能など、IAサーバー開発で長年培ってきた技術により、高い信頼性と可用性を提供します。



■ MAGNIA Storage Serverスペック一覧

TYPE	HDDタイプ 搭載台数・容量	Model	OS	CPU	メモリ(標準)	冗長機能
Tower/ Rackable	2.5型, SAS ~x16台, ~4.8TB	3600	Microsoft® Windows® Storage Server 2008	インテル® Xeon® プロセッサ E5502	2GB	SAS RAID (T381)
Rack Optimized	2.5型, SAS ~x12台, ~7.2TB	3615R		インテル® Xeon® プロセッサ E5506		
	2.5型, SAS ~x6台, ~3.6TB	2615R				
	3.5型, SATA ~x4台, ~8TB	1105R				
Tower/ Rackable	3.5型, SATA, ~x4台, ~8TB	LiTE42S		インテル® Xeon® プロセッサ E5506	1GB	SATA RAID (MAGNIA ATA RAID)
	3.5型, SATA ~x2台, ~4TB	CT400				

●Intel、インテル、Intel logo、Intel Inside、Intel Inside logo、Intel Core、Core Inside、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。●MAGNIA、SetupInstructorは、株式会社 東芝の商標です。●Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。●Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。●本カタログに掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。●詳細の仕様、構成および制限事項などは「ハードウェア構成ガイド」をご確認ください。●誤動作や故障により、本商品の記憶内容が変化・消失する場合がございますが、これによる損害、および本商品の使用不能により生じたお客様の損害については、当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切なデータなどは、必ずお客様の責任の下、普段からこまめにバックアップをお願いします。

東芝は、環境や省エネルギーに対応できる環境調和型コンピューターを推進しています。



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」をよくお読みください。

TOSHIBA

株式会社 **東芝**

ネットワーク&ソリューション統括

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
TEL : (03)3457-3019
Email : pcserver@ieg.toshiba.co.jp



**高性能
スマート**

●資料の内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

PS117©110505(3)Q

2011年5月作成